

# 生活排水処理事業特別会計

## 令和元年度みやま市生活排水処理事業特別会計決算に係る主要な施策の成果

し尿と生活雑排水を併せて処理し、窒素を除去処理する高度処理型の浄化槽の設置を推進することにより、住環境の改善と公共用水域の水質汚濁の防止を目的として、平成18年度より浄化槽市町村整備推進事業を実施しています。令和元年度は、126基の浄化槽を設置しました。

令和元年度みやま市生活排水処理事業特別会計の決算の状況及び主要な施策の成果は次のとおりです。令和2年度より地方公営企業法を適用したため、令和2年3月31日をもって生活排水処理事業特別会計を廃止しました。

歳入決算額	378,834,213	円
歳出決算額	355,001,560	円
歳入歳出差引額	23,832,653	円
翌年度へ繰越すべき財源	0	円
実質収支額	23,832,653	円

歳入総額は、378,834,213円であり、前年度より76,040,480円の減少となっています。

歳出総額は、355,001,560円であり、前年度より92,914,025円の減少となっています。

### 令和元年度 歳入歳出決算の状況

(単位：円、%)

歳 入			歳 出		
予 算 科 目	決 算 額	構 成 比	予 算 科 目	決 算 額	構 成 比
1 分担金及び負担金	12,174,000	3.2	1 総務費	39,249,136	11.1
2 使用料及び手数料	222,134,463	58.6	2 施設管理費	159,747,031	45.0
3 国庫支出金	0	0	3 施設整備費	108,728,356	30.6
4 県支出金	0	0	4 基金積立金	10,283,642	2.9
5 財産収入	50,642	0	5 公債費	36,993,395	10.4
6 繰入金	102,916,000	27.2	6 予備費	0	0
7 繰越金	6,959,108	1.8			
8 諸収入	0	0			
9 市債	34,600,000	9.2			
歳 入 合 計	378,834,213	100.0	歳 出 合 計	355,001,560	100.0

前年度との比較

歳入

(単位：円)

予算科目	令和元年度決算額	平成30年度決算額	比較
1 分担金及び負担金	12,174,000	21,134,000	△8,960,000
2 使用料及び手数料	222,134,463	211,402,488	10,731,975
3 国庫支出金	0	53,307,000	△53,307,000
4 県支出金	0	10,639,000	△10,639,000
5 財産収入	50,642	62,218	△11,576
6 繰入金	102,916,000	98,200,000	4,716,000
7 繰越金	6,959,108	5,029,987	1,929,121
8 諸収入	0	0	0
9 市債	34,600,000	55,100,000	△20,500,000
歳入合計	378,834,213	454,874,693	△76,040,480

歳出

(単位：円)

予算科目	令和元年度決算額	平成30年度決算額	比較
1 総務費	39,249,136	32,268,109	6,981,027
2 施設管理費	159,747,031	205,995,204	△46,248,173
3 施設整備費	108,728,356	165,169,506	△56,441,150
4 基金積立金	10,283,642	10,701,218	△417,576
5 公債費	36,993,395	33,781,548	3,211,847
歳出合計	355,001,560	447,915,585	△92,914,025

歳入

歳入予算科目別決算の状況は、次のとおりです。

**分担金及び負担金**

令和元年度の分担金は、現年度分が11,832,000円、過年度分が342,000円で総額が12,174,000円となっています。前年度との比較としましては、8,960,000円の減少となっています。

## 使用料及び手数料

令和元年度の浄化槽使用料は、現年度分が220,318,081円、過年度分が1,764,982円、手数料が51,400円で総額が222,134,463円となっています。前年度との比較としましては、10,731,975円の増加となっています。これは、浄化槽の管理基数が増加したことおよび滞納対策の強化による過年度分の収納の増加によるものです。

## 国庫支出金

令和元年度の国庫交付金は、0円となっています。前年度との比較としましては、53,307,000円の減少となっています。

## 県支出金

令和元年度の県補助金は、0円となっています。前年度との比較としましては、10,639,000円の減少となっています。

## 財産収入

令和元年度の基金積立金利子は、50,642円となっています。

## 繰入金

令和元年度の繰入金は、102,916,000円となっています。前年度との比較としましては、4,716,000円の増加となっています。

## 繰越金

令和元年度の繰越金は、6,959,108円となっています。前年度との比較としましては、1,929,121円の増加となっています。

## 諸収入

令和元年度の諸収入は、消費税が納付申告になったためありません。

## 市債

令和元年度の下水道債は、国庫補助対象事業費から国庫交付金及び分担金を控除した額に対する起債額となり34,600,000円となっています。

## 歳 出

歳出予算科目別決算の状況は、次のとおりです。

### 総務費

総務費は、人件費、事務費が主な支出で総額 39, 249, 136 円となっています。

### ● 施設管理費

〔目的〕

浄化槽の定期的な点検をし、適正な維持管理を行うことにより、公共用水域の水質保全及び環境衛生の向上を目的とするものです。

〔成果〕

施設管理費は、浄化槽の維持管理委託料が主な支出で総額 159, 747, 031 円となっています。一括管理することにより浄化槽の適正管理を行い、生活雑排水の処理を適正に行うことができました。

### ● 施設整備費

〔目的〕

浄化槽を整備することで、公共用水域の水質保全及び環境衛生の向上を目的とするものです。

〔成果〕

施設整備費は、浄化槽工事費、7条検査手数料が主な支出で総額 108, 728, 356 円となっています。し尿と生活雑排水を併せて処理し、窒素を除去処理する高度処理型の浄化槽を推進することにより、住環境の改善と公共用水域の水質汚濁の防止に寄与することができました。

○ 令和元年度生活排水処理事業の実施状況

(1) 工事請負費

工 事 名	工事費	主な工事内容
浄化槽設置工事	106,361,100	設置基数 ( 126 基 )
		5人槽 79基
		7人槽 41基
		10人槽 4基
		16人槽 1基
		24人槽 1基

### **基金積立金**

基金積立金は、県補助金及び基金利子10,283,642円を浄化槽整備推進基金積立金に積み立てるものです。

### **公債費**

公債費は、起債償還元金が24,529,770円、起債償還利子が12,463,625円で総額が36,993,395円となっています。